光和小
携帯サイト

光和

３月号
練馬区立光和小学校
令和６年２月２９日

経験を生かす

校 長　矢島　直行

令和５年度も残り１か月となりました。学校の１年は、４月に始まり３月で終わります。この１年間を振り返りますと、いろいろな教育活動と行事がありました。４月始業式、入学式にはじまり、遠足、水泳、移動教室、運動会、展覧会など、一つ一つの活動を通して子供たちは大きく成長することができました。

学校だけではなく、夏休みの盆踊りをはじめ、地区祭、応援団まつり、ファミリージョギング大会などの地域行事もありました。それぞれの行事に子供たちは楽しく参加しました。２月に行われたファミリージョギング大会では、石神井公園ボート池周辺を１周、２周、３周に分かれて走りました。当初私は応援だけのつもりでしたが、１年生の子供たちが家族の方と走る姿を見たら思わず一緒に走ってしまいました。声をかけていただきながら子供たちと走るのはとても楽しかったです。青少年育成石神井地区委員会の皆様をはじめ、ＰＴＡの皆様、地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。

さて、卒業を前にした６年生に、「小学校生活での思い出は何ですか」と質問をしますと、「移動教室」という答えが多く返ってきます。６年生の軽井沢移動教室と５年生の岩井移動教室は、子供たちにとって忘れることができない思い出となっています。また、「運動会」「舞台発表会」などもありました。子供たちにとって一つ一つの行事が小学校生活のよい思い出となっています。さらに、「光和小学校を自慢するとしたら」と質問をすると、「子供たちの人数が多い」「マーチングがある」「仲がよい」「校庭が広い」「校舎がきれい」という答えが返ってきます。大勢の友達と出会ったこと、マーチングを引き継いだこと、友達と仲がよいこと、そして、恵まれた環境であることは、まさに本校のよさであるといえます。

「将来の夢」についてはまだ考えている子供たちがいますが、自分の目標、夢をしっかりもっている６年生もいます。子供たちには、私自身の経験を交えながら、「夢は意志をもつことによりかなうことができる」と話しました。夢や目標は途中であきらめてしまったら、その時点でかなえることはできません。遠回りをしても自分の夢をあきらめずに頑張ることにより、夢をかなえることができます。もし図らずも夢がかなわない場合でも、その目標に向かって努力したことは、決して無駄になりません。

卒業する６年生には、本校で学んだことを生かしながら、自分の夢に向けて努力を積み重ね挑戦してもらいたいと願っています。

本年度も残り１か月です。「もう、あと１か月しかない」ではなく、「まだ、１か月ある」と考えると時間を計画的に活用することができます。６年生だけではなく、１年生から５年生のみなさんにも残りの１か月となる３月を、計画的に新年度に向けての準備に取り組んでいけるようにしたいです。